

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆中国、35年に温暖化ガス7～10%削減へ 国連イベントで公表

・中国の習近平(シー・ジンピン)国家主席は国連が開いた気候変動対策のイベントでビデオ演説し、2035年までに温暖化ガスの排出量をピーク時から7～10%削減すると表明した。11月の第30回国連気候変動枠組み条約締約国会議(COP30)を前に、新たな排出削減目標(NDC)を示した。

◆高齢者医療、膨らむ現役世代の健保負担 24年度5.7%増の3.8兆円

・主に大企業の従業員と家族が入る健康保険組合の決算見込みの集計で、2024年度に高齢者医療制度への拠出金が3兆8591億円と過去最大になった。前年度から5.7%増えた。保険料率は平均で9.31%と0.04ポイント上昇しており、現役世代の負担増が賃上げの効果を薄めている。

◆綱渡りの健康保険 組合の4分の1、保険料率10%の「解散水準」に

・全国約1400の健康保険組合の2024年度の経常収支は合計で145億円の黒字だった。健康保険組合連合会が発表。高齢者医療への拠出金など支出の膨張を保険料の引き上げなどでかろうじてカバーしている。個別にみると半数近くの組合は赤字だった。4分の1近くは保険料率が「解散ライン」とされる10%以上になっており、綱渡りが続く。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆設置50年超の旧式水道管1万キロ、撤去へ 緊急道の下から優先更新

・国土交通省は、老朽化による漏水や破損のリスクが大きいとして铸铁製の上水道の旧式管を全て撤去する。管理する全国の自治体に更新計画の策定を要請。災害時の避難・救助や物資供給の主要ルートとなる緊急輸送道路(緊急

◆パナソニック、10月に早期退職を募集 電池子会社などは対象外

・パナソニックホールディングス(HD)が実施する1万人規模の人員削減のうち、家電や空調などを手掛ける事業会社パナソニックが10月に早期退職を募集することが25日、わかった。主な対象者は勤続5年以上の40～59歳の社員と64歳以下の再雇用者。10月1日から31日まで募集し、応募した社員に対しては年齢などを踏まえて退職金を上乗せ。

◆女性技術者比率8.5%に伸長 キャリア継続の取組広がる―日建連

・日本建設業連合会が公表した女性の活躍推進に関するアンケート調査結果によると、全技術者系社員における女性の割合は8.5%で、前年から0.6ポイント増加した。このうち現場代理人は0.8%(1万1946人中100人)、現場監督は4.8%(5万3698人中2582人)だった。各社で女性技術者の採用や登用が進んでいる様子がうかがえる。

《 注目商品 》

■ボッシュホーム、節電効果高めたエアコン「白くまくん」発売

・ボッシュホームコンフォートジャパン(旧日立ジョンソンコントロールズ空調)は「白くまくん」プレミアムXシリーズ10商品を10月31日に発売。新たに搭載した「LAB制御」機能は室温が設定温度に達すると、住宅の断熱性能や人の出入りなどの状況をもとに低出力運転に切り替える。



■パナソニック、パルックLEDシーリングライト スタンダードシリーズ

・パソコン画面や紙の文字が見やすい光で明るく照らす「パソコンくっきり光」と「文字くっきり光」を全機種に標準搭載し、豊富なデザインや部屋の広さで選べるラインアップに一新した、パルックLEDシーリングライト スタンダードシリーズ計15品番を発売。



■グローエ、キッチン水栓「ミンタ」

・多様なスパウト形状と機能性で人気のキッチン水栓「ミンタ」シリーズに、水はね低減機能を搭載した新モデル7種類をラインアップ。日本国内のユーザーの声に応え、ドイツオリジナル品の散水板に改良を加えることで、水はねの少ない「ソフトスプレー仕様」を採用。

